



発達障害について

育てにくさを感じる子どもたちの中に「発達障害」と呼ばれる特性を持つ子どもがいる場合があります。

子どもはかわいいし、一生懸命育てているつもりなのにうまくいかない。育児書や人から聞いていたこととはどうも違う。

そんなとき、子育ての仕方の問題があるのではと、自分を責めてしまうことがあります。もしかすると、原因は、他のところにあるのかもしれない。

特性を持つ子どもは、すべてが遅れていたり難しいわけではありません。得意なことと不得意なことの差が大きいため、支援の必要性が見落とされ、困った行動ばかりが目についてしまいがちです。

- ・「がんばればできる」と思われ、無理な努力を強いられたりすることがあります。
- ・「言うことをきかない子」「しつけができない子」と思われることがあります。

その結果、子ども自身や保護者がやる気をなくしてしまいます。さらに、自分からの「助けて」のサインを出せなくてつらい思いをしています。

こんな様子はありませんか？

◎ 日常生活のようす

- * 睡眠サイクルができにくい……昼間は目が覚めていて、夜間に眠るという睡眠のサイクルがなかなかできない。寝付くのに時間がかかり、泣いたり暴れたりする。特定の環境でないと眠らない。眠りが浅い。など
- * 偏食・少食……単なる好き嫌いではなく、ごはんやうどんのような白いものしか食べないなどこだわりがある。極端に少食で、食べることに興味を示さない。



◎ 人とのかわり方、コミュニケーション

- * 大人(親)や周囲の人を見ない……母親がいなくなっても平気、母親がしばらくして部屋に戻っても見ず、黙々と自分の好きなことをしている。
- * コミュニケーションがむずかしい……1歳から1歳半のころには2~3の単語が出るようになる子が多いが、ほとんどことばが出ない。ことばが出てもオウム返しで、意思が通じない。
- * 共同注意がない……親や大人が指さした方を見る行動(共同注意)がなく自分でも指さしをしない。





◎興味・こだわり

- * 特定のものに興味を示す……扇風機をじっと見るなど、回るものが好き。また、おもちゃの本来の遊びをしない。
- * こだわりのパニック……思い通りにならないと、泣いたり騒いだりするものが激しく、大人には理解できないことで突然大騒ぎになり、泣き叫んだり暴れたりする。
- * 気になる行動……おもちゃなどに興味を示さず、自分ぐるぐる回ったり、物の周囲を回り、手のひらをひらひらさせたり、ぴよんぴよん跳んだりと感覚を楽しんでいるような行動がみられることがある。



◎愛着のようす

- * 抱きづらい……抱こうとするとそり返り嫌がるので、非常に抱きづらく、視線が合いにくい。

◎行動のようす

- * 気が散りやすい……遊びが長続きしない。
- * 飛び出し……いきなり飛び出し、大人の目の届かないところまで平気で走っていくので、手を放すことができない。
- * 高いところに上がりたがる……注意をしても聞かず、降ろそうとすると泣いたり騒いだりする。何度やめさせても繰り返す。
- * 動き回って落ち着かない……興味のあるものには、すぐさわろうとして、目が離せない。
- * 大人の言うことを聞かない……衝動性が強く、がまんをしたり、自分の気持ちをコントロールしたりすることが苦手。大人の制止もなかなか聞かずパニックになり、とてもわがままな子どもに見られる。



これらの様子で気になることがいくつかある場合は、早めに相談をしましょう！



発達障害は、年齢や生活、保護者の育て方や本人の努力不足ではありません。本人の特性に合った支援や環境を整えると、子どもの力を伸ばすことができます。子どもの気になる行動があれば1人で悩まずに、早めに保育所（園）・幼稚園、保健センター、かかりつけ医などに気軽に相談してみましょう。

ほけんだよりは、くれ子育てねっとの子育て支援サービスでもご覧になることができます。

URL <http://www.kure-kosodate.com/>